

各 250 字以内で答えなさい

＜採点の考え方＞

加点要因→キーワード（文脈の中で正しさに欠ける場合は減点）

キーワードが合ってなくても同様の意味を示せば問題なし。

減点要因→主語と述語の非対応、論理構成の誤り（原因と結果の不整合等）

建設業経理士試験では、キーワードや法令用語であっても正式な用語を強く求められるわけではないことを意識してください。極端に言うと、間違っていなければ主語と述語だけでも 2～3 点程度はもらえるということです。（例：減価償却の本質→減価償却とは取得原価を配分する手続きである）。試験では絶対にあきらめないでください。

過去の添削を行った感想⇒主語述語の対応関係が明確でない解答が数件ありました。記入した後に必ず対応関係を確認してください。また解答を列挙する場合は、できれば①②③などで箇条書きにした方が見やすくなるので試してみてください。またテキストの内容をそのまま記入されている方も数人おられましたが、できるだけ自分で考えて自分の言葉で書く練習をしてください
あと、しっかりした回答にするためには、記述内容を「なぜ」「なぜ」「なぜ」の観点から理由を記述すると良いと思います。
＜例＞
減価償却をする→（なぜ）適正な期間損益計算をする→（なぜ）投資家の意思決定に資するため

例えば予定配賦率の説明に関して、各項目の説明がないものが多くありました。加点要素なので必ず書くようにしてください。

関係という言葉に気にした解答が多いように感じました。関係を論じるのは難しいので、あえて関係には触れずに個別に説明したほうが書きやすいかもしれません。

経常利益率の分析の方が重要と断じている解答が多くありました。分析というのは相対的なものなので断定表現は減点される可能性があります。***の考えがある。***が多数説である。などの表現を意識すればいいと思います。

<財務諸表>

- (1) 包括利益の意義を述べよ、
- (2) その他の包括利益の具体例を述べよ

資産除去債務の意義と、発生時および決算時の会計処理について述べよ

<原価計算>

<原価計算>

仮設資材の工事原価への配賦方法について述べよ

- (1) 借入金の利子は原価性を有するか、一般的原価計算慣行と建設業固有の事情の両方の観点から解説しなさい

<財務分析>

- (1) ①損益分岐点を改善する方法 ②資本回収点分析、についてそれぞれ述べなさい

- (2) 2 期間貸借対照表の増減分析と資金運用表分析の相違点について述べよ